## 東洋経済/第8回CSR調査(2012年)

1.雇用•人材活用編

ご依頼しております「東洋経済・CSR調査」のうち、「雇用・人材活用編」についてのご記入・ご回答をお願いいたします。 ご多用中まことに恐縮ですが、8月8日(水)の期限までに「お取りまとめ担当者様」を通じて、ご返送いただきたく存じます。

御社名:	ご記入担当者名 :
<ul><li>※傘下会社名 :</li><li>(御社が純粋持株会社の場合に記入)</li></ul>	同、部署名 :
※ 単体ベース以外でのご 回答の場合、その内容 :	同、TEL :
小社使用コード : (この欄は小社で記入)	同、FAX :

※印は、小社東洋経済オンラインにご用意しています「ご回答の手引き」中に記載している「ワク内の説明」をご参照ください。

#### 2010年度、2011年度それぞれ期末時点の従業員関連データをご記入・ご確認ください

※記載基準はいずれも有価証券報告書記載の単体ベース

(「従業員の状況」の「提出会社の状況」でお願いします。なお、時点・基準が上記と異なる場合は、注記欄に各データについて具体的にご記入ください)

		合計(男女計)		うち男子	うち女子
	2010年度	,	人	人	
<b>从未只</b> 数	2011年度	/	人	人	
	2010年度	J.	裁	歳	
平均年齢 (注1)	2011年度	•	裁	•	•
北体欠业	2010年度	Í	年	年	
勤続年数	2011年度	• 4	年	• 年	•
平均年間給与	2010年度	F	円	<u>(注1)10進法で小数第1位</u>	まで、小数第2位四捨五.
1 x2	2011年度	F	円	(注2) 臨時雇用者数は年間	
吃叶三田本料 (注0)	2010年度	,	人	(任2) 臨时准用有数は干	町の平均八貝数
臨時雇用者数(注2)	2011年度	,	人		
/丰/十/六·希·白·林/	2010年度	,	人		
連結従業員数	2011年度	/	人		
	2010年度	,	人		
外国人従業員数	2011年度	/	人		
**************************************	2010年度	,	人		

		•	
10年年/十二	. <u> </u>		
10十/支 (土)山	<u>:</u>	11 平/支 (土)山	<u>:</u>
, , , ,	:	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	:		
	i		i

# 2011年4月から2012年3月までの離職者の状況(正社員のみ、定年退職を除く)についてご記入ください(これ以外の期間の場合は2. をお選びください)

1. 2011年4月~2012年3月 2. 1. 以外の1年間 3. その他(

2011年度

連結外国人従業員数

) ←いずれかに○を

男子	人	内訳	1	人	2	人	3	人	4	人	他	人
女子	人	内訳	1	人	2	人	3	人	4	人	他	人
男女計	人	内訳	1	人	2	人	3	人	4	人	他	人

(内訳には①早期退職制度利用、②自己都合、③会社都合、④転籍、「他」別に、各該当者数もご記入ください)

	_	 	 	 	
0.0	. \ <del>_</del>				
$Q^2$	注記:				

#### |8 2011年度末時点での世代別従業員(有価証券報告書べ一ス)をご記入ください

	合計(男女計)	うち男子	うち女子
30歳未満	人	人	人
30~39歳	人	人	人
40~49歳	人	人	人
50~59歳	人	人	人
60歳以上	人	人	人

※時点等で基準と異なる場合、また男女計がQ1の2011年度従業員数(男女計)と異なる場合は、その理由を注記欄にご記入ください

Q3注記

直近時点での30歳平均月例賃金(大卒・総合職)と同、最高・最低(賃金格差がある場合)それぞれの金額をご記入ください (注記欄には、各条件等をご記入ください)

| 30歳平均 | 円 | 30歳最高 | 円 | 30歳最低 | 円 | Q4注記:

#### ○5 月平均残業時間と同残業手当(2011年度実績、全従業員ベース)をご記入ください

| 従業員1人当たり月平均残業時間 | 時間/月 | 注記 | 円/月 | 注記 |

## 36 多様な人材の役職登用状況について(2011年度末、あるいは直近時点)、ご記入ください

年月現在

	女性人数	男性人数	女性比率	外国人数
管理職	人	人	• %	人
うち部長職以上	人	人	• %	人
役員(執行役員を含む)	人	人	• %	人
うち執行役員	人	人	• %	人

- 「管理職」とは、「部下を持つ職務以上の者、並びに部下を持たなくともそれと同等の地位にあるもの」を指す。「役員」は除く。
- ・「女性比率」は、各男女合計中の女性比率(小数第1位まで。小数第2位四捨五入)。
- ・「役員」は、取締役・監査役および執行役員、執行役の計。

#### 多様な人材の管理職比率に関する目標値→

目標比率・目標年次かど具体的にお書きください) (定義・基準が上記の人数と異かる場合は 下記注記に具体的にお書きください)

Q6注記

年年

### ◎7 多様な人材の能力活用・基本理念・取り組みについてご記入ください

## 多様な人材の能力活用・登用を目的とした専任組織の有無(1つ選択)

1. 専任組織あり 2. なし 3. 設置予定あり 4. その他 (

部署名( ) 設置年月( 年

注記

#### 妊娠・出産・育児・介護・転勤(配偶者)などを理由として退職した社員の再雇用制度(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 導入予定 4. その他 (

高齢者対象の法定以上の再雇用・定年延長制度(1つ選択)

1. あり 2. なし 3. 導入予定 4. その他 (

ダイバーシティ(多様な人材活用)推進のための基本理念があればお書きください(80字程度)

#### ダイバーシティ尊重のための経営方針・トップコミットメントについてお書きください(80字程度)

#### ダイバーシティ推進の中長期ビジョンがあればお書きください(80字程度)

#### ダイバーシティ推進について最近の事例があればお書きください(80字程度)

障害者雇用の							
※2009~2011年度 2位まで、同3位を四	末時点における該当 3捨五入)		f雇用率(算出	出方法は法定雇	用率に準ず)をご記	2入・ご確認くださ	い(雇用率は小
該当者数 障害者雇用率	09年度		人 % 10年		人 11年 % 11年	~ ~	人 %
章害者雇用率に関		·	, , , ,	,,,,	, , , , ,	-	, ,
[目標比率・目標年]	、 次など具体的にご記	已入ください)					
注記	•						
· 特例子会社の有	····································						
1. あり 2	2. なし 3.	設立予定	4. その他	. (			
特例子会社名(							
	E要な特例子会社を する取り組みに			幸 キノだ さい/	100字钽度)		
华百 17 准 / 10 / 15	H A WHY A WHO WIC	- 70 - C <del>34 (M</del> 137)	<del>サギ</del> がでの	EC VICCO	100丁性皮/		
年次有給休暇	異の取得状況に <sup>・</sup>	ついてご記入くが	どさい	₩ı.÷	わえる分类目立ち	~ 7 <b>+</b> HH=	こ口米が子組北八
	有休付与日		有休取得		れも全従業員平均取得率(小数等		トロ奴は磔越万
2009年度	1311114	月	14 11 . 0 . 1 4	月	10-14 1 (4 ))40	%	
2010年度		E .		月		%	
2011年度		日		日		• %	
Q9注記							
労働安全衛生	の取り組みにつ	いてご記入くだ	さい				
労働安全衛生マ	オジメントシスラ	<b>Fムの構築の有</b>	無(1つ選打	尺)			
1. あり	2. なし	3. その他	<u>г</u> (				
1. あり		3. その他	<u>г</u> (		ハ(100字程度)		
1. あり	2. なし	3. その他	<u>г</u> (		、(100字程度)		
1. あり <b>労働安全衛生に</b>	2. なし <b>:関する取り組み</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> 的	内な事例を	お書きください	ハ(100字程度)		
1. あり <b>労働安全衛生に</b> 労働災害が発生	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>Eしやすい生産</b>	3. その他 Mについて具体的 部門等の該当事	」( 内な事例を 業所の有領	お書きください	、(100字程度)		
1. あり <b>労働安全衛生に</b> 	2. なし <b>:関する取り組み</b> <b>=しやすい生産</b> 2. なし	3. その他 <b>ドについて具体的</b> <b>部門等の該当事</b> 3. その他	り 内な事例を 業所の有領	お書きくださ( 無(1つ選択)			
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>Eしやすい生産</b>	3. その他 について具体的 <b>3. その他</b> <b>5数率を2009~</b>	」( 内な事例を 業所の有 」( 2011年度に	お書きくださ( 無(1つ選択) こついてご記	入ください		
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>Eしやすい生産</b> 2. なし <b>Sける労働災害</b>	3. その他 について具体的 <b>3. その他</b> <b>5数率を2009~</b>	り 内な事例を 業所の有 り り 2011年度に 時間数×100	お書きくださ( 無(1つ選択) こついてご記	入ください		•
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率=	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>Eしやすい生産</b> 2. なし <b>Sける労働災害</b>	3. その他 について具体的 <b>3. その他</b> <b>5数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時	り 内な事例を 業所の有 り り 2011年度に 時間数×100	お書きくださ( 無(1つ選択) こついてご記	<b>入ください</b> 第2位まで		•
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率= 2009年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>5ける労働災害</b> <b>6</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	がにお事をとれ	·
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率= 2009年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	めにお書きくだ	・ :
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率= 2009年度 生記	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	な的にお書きくだ	・ ごさい(2つま
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率 2009年度 住記 (10年度、2011年 5、各年度100字程 2010年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	めにお書きくだ	・ ごさい(2つま
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率 2009年度 注記 010年度、2011年 5、各年度100字種 2010年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	な的にお書きくだ	・ ごさい(2つま
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率 2009年度 住記 (10年度、2011年 5、各年度100字程 2010年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 <b>ドについて具体</b> <b>ボ門等の該当事</b> 3. その他 <b>を数率を2009~</b> 皆数/延べ労働時 2010年度	以 内な事例を 業所の有類 以 ( 2011年度に 時間数×100	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 )万時間、小数	<b>入ください</b> 第2位まで 2011年度	い的にお書きくだ	・ ごさい(2つま
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率 2009年度 全記 2010年度、2011年 で、各年度100字科 2011年度	2. なし <b>関する取り組み</b> <b>こしやすい生産音</b> 2. なし <b>3ける労働災害</b> <b>6</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b> <b>は</b>	3. その他 ドについて具体的 本について具体的 本ででは、 を数率を2009~ 音数/延べ労働的 2010年度 安全衛生に関する	集所の有 業所の有 2011年度に 時間数×100 6特筆すべき	お書きください 無(1つ選択) こついてご記 万時間、小数	入ください 第2位まで 2011年度 5りましたら、具体		・ さい(2つま
1. あり 労働安全衛生に 労働災害が発生 1. あり 生産部門等にお 労働災害度数率 2009年度 全記 2010年度、2011年 で、各年度100字科 2011年度	2. なし 関する取り組み とし やすい生産   2. なし   3. ける労働災害   ()   ()   ()   ()   ()   ()   ()   (	3. その他 ドについて具体的 本について具体的 本ででは、 を数率を2009~ 音数/延べ労働的 2010年度 安全衛生に関する	集所の有 業所の有 2011年度に 時間数×100 6特筆すべき	お書きください 無(1つ選択) こついてご記の万時間、小数を表彰事例があ	入ください 第2位まで 2011年度 5りましたら、具体		・ : さい(2つま

Q11注記

勤務形態の柔軟化に関する諸制度 (法令で定められているもの以外)として、導入されているものはすべて「あり」 に○をつけ、「あり」の場合のみ制度の概要をご記入ください

制度	有·無	制度の概要(具体的な実績でも結構です)
フレックスタイム制度	あり・ なし	
短時間勤務制度	あり・ なし	
半日単位の有給休暇制度	あり・ なし	
在宅勤務制度	あり・ なし	
サテライト・オフィス	あり・ なし	
保育設備·手当	あり・ なし	
ワークシェアリング	あり・ なし	
裁量労働制度	あり・なし	

上記以外の制度がある場合はその制度名と概要を3つまでお書きください

制度名	制度の概要
2	
3	

従業員のインセンティブを高めるための諸制度 として、導入されているものすべて「あり」に○をつけ、 「あり」の場合のみ制度の概要をご記入ください

制度	有•無	制度の概要(具体的な実績でも結構です)
資格・技能検定の取得奨励制度	あり・なし	
社内公募制度	あり・なし	
FA制度	あり・ なし	
企業内ベンチャー制度	あり・ なし	
国内留学制度	あり・ なし	
海外留学制度	あり・ なし	
特別な成果に対する表彰・報奨制度	あり・なし	
キャリアアップ支援制度	あり・なし	
ストックオプション制度	あり・ なし	

上記以外の制度がある場合はその制度名と概要を3つまでお書きください

制度名	制度の概要
①	
2	
3	

【産休】	(注) 取得者	数はいずれも	制度取得開始時点べ	ニスで該当人数	をカウントしてください	( ) <sub>0</sub>
産休期間 法定通り―	·/					
法定以外の	の場合→ 産前 [	退	週間 産後	週間		
産休取得者数 2009	年度	人 201	10年度	人 201	11年度	人
産休期間の給与の概	要					
配偶者の出産休暇制	度(1つ選択)					
1. あり 2. なし	休暇期間:最	<del>是</del> 長(				
注記						
【育児休業】				※「育児休業	美復職率」は小数第1位	まで。小数第2
育児休業期間につい	- ' ''		最長は1歳6カ月(− 、	-定条件あり)		
1. 法定通り 2. その				I	2011年由	
育児休業取得者数 うち男性取得者数	2009年度	人	2010年度 2010年度	<u>人</u>	2011年度 2011年度	
育児休業復職率	2009年度	<u></u>	2010年度	<u>%</u>	2011年度	•
注記	2003 1/2	70	2010 - 1/2	70	2011 17/2	
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前の 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 (	数は法定通りで有 <b>の子を持つ社員が和</b> 2. フレック ない制度 5.	ず給 3. <b>利用できる制</b> ウスタイム制 . 事業所内	3. 始業・終 託児施設の運営	<b>~るものすべて!</b> 業時刻の繰り 6. 育児	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ	
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前の 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 (	数は法定通りで有 <b>の子を持つ社員が和</b> 2. フレック ない制度 5.	ず給 3. <b>利用できる制</b> ウスタイム制 . 事業所内	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営	<b>~るものすべて!</b> 業時刻の繰り 6. 育児	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ	
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前の 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他( 産休・育休の取得で料	数は法定通りで有 <b>の子を持つ社員が</b> 和 2. フレック ない制度 5. <b>寺別な取り組みが</b>	所給 3. <b>利用できる制</b> カスタイム制 . 事業所内 あればお書	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	<b>このをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を初	甫助する制
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特 【介護休業等】	数は法定通りで有 <b>の子を持つ社員が</b> 和 2. フレック ない制度 5. <b>寺別な取り組みが</b>	所給 3. <b>利用できる制</b> カスタイム制 . 事業所内 あればお書	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 きください(150字)	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	<b>このをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を初	甫助する制
【看護休暇】 子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前の 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他( 産休・育休の取得で特 【介護休業期間(最長) 介護休業取得者数	数は法定通りで有 <b>の子を持つ社員が</b> 和 2. フレック ない制度 5. <b>寺別な取り組みが</b>	所給 3. <b>利用できる制</b> カスタイム制 . 事業所内 あればお書	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 きください(150字)	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	<b>このをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を初	甫助する制
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他( 産休・育休の取得で特 【介護休業等】 介護休業期間(最長) 介護休業取得者数	数は法定通りで有 の子を持つ社員が和 2. フレック ない制度 5. 寺別な取り組みが ※法第 2009年度	所給 3. <b>利用できる制</b> カスタイム制 . 事業所内 あればお書	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) 護休業は1人につき通	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	こ <b>○をつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 護休暇は年間1人5日	献助する制
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前の 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他( 産休・育休の取得です  【介護休業等】 介護休業期間(最長) 介護休業取得者数  介護休暇の日数につ	数は法定通りで有 の子を持つ社員が利 2. フレック ない制度 5. 特別な取り組みが ※法第 2009年度 いて(1つ選択)	京給 3. <b>利用できる制</b> ウスタイム制 . 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) 護休業は1人につき通	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	こ <b>○をつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 護休暇は年間1人5日	甫助する制
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特 【介護休業期間(最長) 介護休業取得者数 介護休業の日数につ 1. 法定通り 2. 日 注記(看護休暇!!!	数は法定通りで有 の子を持つ社員が利 2. フレック ない制度 5. 特別な取り組みが ※法第 2009年度 いて(1つ選択)	京給 3. <b>利用できる制</b> ウスタイム制 . 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) 護休業は1人につき通	「るものすべて」 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b>	こ <b>○をつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 護休暇は年間1人5日	献助する制
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特  【介護休業期間(最長) 介護休業取得者数 介護休暇の日数につ 1. 法定通り 2. 日 注記(看護休暇) 注記(看護休暇)	数は法定通りで有 の子を持つ社員が利 2. フレック ない制度 5. 寺別な取り組みが ※法第 2009年度 いて(1つ選択) 数は法定通りで有	京給 3. <b>利用できる制</b> フスタイム制 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介 給 3. そ	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) <b>護休業は1人につき通</b> 2010年度	で <b>るものすべて</b> ( 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b> 第93日まで。介証	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 後休暇は年間1人5日 人 2011年度	甫助する制 まで、最大1
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外労働をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特 【介護休業期間(最長) 介護休業取得者数 介護休業の日数につ 1. 法定通り 2. 日 注記(看護休暇!!!	数は法定通りで有の子を持つ社員が利金い制度 5. フレックない制度 5. ま別な取り組みが、 ※法第 2009年度 いて(1つ選択) 数は法定通りで有	京給 3. <b>利用できる制</b> フスタイム制 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介 給 3. そ	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) <b>護休業は1人につき通</b> 2010年度	で <b>るものすべて</b> ( 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b> 第93日まで。介証	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 後休暇は年間1人5日 人 2011年度	甫助する制 Iまで、最大
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外側をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特 【介護休業期間(最長) 介護休業期間(最長) 介護休暇の日数につ 1. 法定通り 2. 日 注記(看護体験) 両立支援制度として	数は法定通りで有の子を持つ社員が利金い制度 5. フレックない制度 5. ま別な取り組みが、 ※法第 2009年度 いて(1つ選択) 数は法定通りで有	京給 3. <b>利用できる制</b> フスタイム制 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介 給 3. そ	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) <b>護休業は1人につき通</b> 2010年度	で <b>るものすべて</b> ( 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b> 第93日まで。介証	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 後休暇は年間1人5日 人 2011年度	甫助する制 まで、最大1
子の看護休暇の日数 1. 法定通り 2. 日 3歳から小学校就学前( 1. 短時間勤務制度 4. 所定外側をさせ 7. その他 ( 産休・育休の取得で特 【介護休業期間(最長) 介護休業期間(最長) 介護休暇の日数につ 1. 法定通り 2. 日 注記(看護体験) 両立支援制度として	数は法定通りで有の子を持つ社員が利金い制度 5. フレックない制度 5. ま別な取り組みが、 ※法第 2009年度 いて(1つ選択) 数は法定通りで有	京給 3. <b>利用できる制</b> フスタイム制 事業所内 <b>あればお書</b> 定の最長は介 給 3. そ	その他 ( <b>度について、該当す</b> 3. 始業・終 託児施設の運営 <b>きください(150字</b> ) <b>護休業は1人につき通</b> 2010年度	で <b>るものすべて</b> ( 業時刻の繰り 6. 育児 <b>程度以内で)</b> 第93日まで。介証	<b>こOをつけてくださ</b> 上げ・繰り下げ サービス費用を补 後休暇は年間1人5日 人 2011年度	甫助する制 まで、最大1

## 新卒採用状況についてご記入ください

	大卒・修士以上(男女計)	大卒·修士以上(男子)	大卒·修士以上(女子)	短大·専門(男女計)	高卒•他(男女計)
2011年4月入社					
2012年4月入社					
Q16注記					

中途採用状況についてご記入ください

	全体合計(男女計)	大卒・修士以上(男女計)	大卒・修士以上(男子)	大卒·修士以上(女子)	大卒以外(男子)	大卒以外(女子)
2010年4月~11年3月入社						
2011年4月~12年3月入社						

Q17注記

#### ○18 人権・労働問題等の対応についてご記入ください

#### 人権尊重・差別禁止等の方針の有無(1つ選択)

1. あり

2. なし

3. その他(

人権尊重・差別禁止等で具体的な取り組みがあればお書きください(150字程度以内で)

#### ILO(国際労働機関)中核的労働基準を尊重した経営の実施について(1つ選択)

1. 尊重している(行動規範での表明等)

2. していない

3. 検討中

#### 中核的労働基準4分野について海外を含めて対応しているとお考えのものすべてに〇をつけてください

- 1. 結社の自由及び団体交渉権
- 2. 強制労働の禁止
- 3. 児童労働の実効的な廃止
- 4. 雇用及び職業における差別の排除

最近発生した労働問題(海外も含む)があれば、その内容と対応について具体的にお書きください(150字程度以内で)

#### ○19 人事制度、評価制度についてご記入ください

#### 能力・業績評価基準(従業員用)の公開について(1つ選択)

1. 従業員に公開 2. 従業員に非公開 3. その他(

従業員本人に対して能力・評価結果の公開について(1つ選択)

1. 本人に公開 2. 本人に非公開 3. その他(

### 従業員の満足度調査の実施について(1つ選択)

1. 行っている 2. 行っていない 3. 検討中

4. その他(

#### 海外事業所等での人事制度、評価制度について(1つ選択)

1. グローバルで統一された制度がある 2. 制度はあるが十分に整備されていない 3. 検討中

4. その他(

#### 海外での人事制度、評価制度の具体例や最近の取り組みについてお書きください(200字程度で)

この調査のお問い合わせ先

東洋経済新報社 データ事業局CSRデータ開発チーム

(E-mail: csr@toyokeizai.co.jp)

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1

●ご記入ありがとうございました。

お手数ですが、お取りまとめ担当者を通じて、ご返送いただきたく存じます。